



災害ボランティア開始前ミーティング



JCメンバーで一軒家の周辺に散乱した廃棄物を清掃している様子



災害廃棄物仮置き場で活動する相原理事長

Information

◆3月例会
日時：2024年3月14日（木）
登録・受付：17：30
開会：18：20
閉会：20：35
会場：川越市やまぶき会館

来る、3月14日（木）、広報拡大特別委員会では、「無限の可能性を秘めたあなた～人脈を広げてLet' まちづくり～」をテーマとして3月例会を開催いたします。3月例会では、青年会議所の魅力

を伝え、存在を認識していただくと共に活動に対し共感を持っていただけるような設えをいたします。講師には公益社団法人日本青年会議所直前会頭麻生将豊君をお招きし青年会議所の魅力でもありますが、まちづくりを通して一生の仲間に出会えるといった内容を対話形式で伝えていただきます。まちづくりを行う強固な組織として発展していくためにもLOMメンバー一人ひとりが拡大に対しての当事者意識をしっかりと持ち参加する事で、実り多き例会となるよう委員会メンバー同しっかりと準備してまいります。また、本例会は一般参加が可能となりますので拡大候補者の方がいましたらご紹介いただけますと幸いです。

広報拡大特別委員長 境 有加

理事会報告

◆第2回理事会
日時：2024年2月8日（木）19時00分～20時57分
会場：川越商工会議所 2階 会議室

議案

- 第1号議案 3月例会（案）に関する件
- 第2号議案 日本JCじゃがいもクラブ春季大会事業（案）に関する件
- 第3号議案 2023年度決算書（案）に関する件
- 第4号議案 例会日程及び年間スケジュール変更（案）に関する件
- 第5号議案 第1回臨時総会（案）に関する件

全議案とも、議案通り可決承認されました。

出席理事：16名中14名

新入会者紹介

藤野 薫（ふじの かおる）
 ■事業所：スマック・ワールド 株式会社
 ■事業内容：アミューズメント業
 ■事業所住所：群馬県高崎市東貝沢町1-17-8
 アルファビル高崎2F



長浜 大輔（ながはま だいすけ）
 ■事業所：埼玉GY 株式会社
 ■事業内容：卸業（タイヤ）
 ■事業所住所：川越市大塚新町2-1
 ■役職：地域貢献プロジェクトマネージャー
 営業主任



仮入会者紹介

館野 最哉（たての もとや）
 ■事業所：アミューズメントバー Shuu
 ■事業内容：飲食店
 ■事業所住所：川越市脇田町17番地1 JOY09ビルA館2階

公益社団法人川越青年会議所 広報 the Voice of JC 2024年2月号
 発行：公益社団法人川越青年会議所 2024年度理事長 相原 広明
 〒350-8510 埼玉県川越市仲町1-12
 tel：049-229-1810 e-mail：info@kawagoe-jc.or.jp https://kawagoe-jc.or.jp/
 編集：総務委員会 印刷：株式会社 櫻井印刷所

the Voice of JC 2024.02

Kawagoe JC since 1961

公益社団法人川越青年会議所 広報
第54巻 第2号（年12回発行）
2024年2月29日発行



相原広明理事長から樋口直喜直前理事長へ感謝状の贈呈



Report

◆1月例会 定期総会・新年懇親会
日時：2024年1月10日（水）

<定期総会>
登録・受付：16：30 開会：17：00 閉会：17：55
会場：ラ・ボア・ラクテ 4Fベガ

<新年懇親会>
開会：19：00 閉会：20：58
会場：ラ・ボア・ラクテ 4Fベガ

去る1月10日（水）、（公社）川越青年会議所2024年度最初の例会となる1月例会定期総会並びに新年懇親会を総務委員会担当のもと、ラ・ボア・ラクテにて開催させていただきました。

1月定期総会では、ラ・ボア・ラクテ4Fベガにおいて近隣友好JCの理事長をはじめとするメンバーの皆様にもオブザーバーとしてご参加いただき、2議案の承認を問わせていただきました。第一号議案2023年度事業報告書（案）承認に関する件、第二号議案2024年度修正予算書（案）承認に関する件、慎重審議のもと全員賛成をもって可決承認され相原理事長がキーワードとして掲げる「真心」を全メンバーが胸に刻み、2024年度の素晴らしいスタートが切れたと確信いたします。また、議事終了後には「夢」をキーワードに掲げ、理事長としてLOMメンバーを牽引してこられました第63代理事長である樋口直喜君に感謝状が贈呈されました。

新年懇親会はラ・ボア・ラクテ4Fベガにて開催をさせていただ

きました。新年懇親会には川越市長 川合善明様、川越市議会議員 山木綾子様、川越商工会議所会頭 原敏成様、衆議院議員 中野英幸様、衆議院議員 小宮山泰子様をはじめとする多くのご来賓の皆様、近藤武弘OB会長をはじめとする川越青年会議所OB会員の皆様、近隣友好JCの理事長をはじめとするメンバーの皆様にご参加いただき、新春の門出を祝うにふさわしい会となりました。冒頭、相原理事長より2024年度に懸ける熱い想いが込められた挨拶を述べさせていただき、ご来賓の皆様からもご挨拶を頂戴し、近藤武弘OB会長から乾杯のご発声を頂戴して歓談へと移りました。新型コロナウイルス感染の影響も少なくなり、久しぶりの同会場で一同に会する懇親会となり、我々の運動に対して多大なるご理解とご協力をいただいている方々へ感謝の気持ちをお伝えすることもできたと考えております。終盤では川越鷺組頭取 鈴木英明様と若鷺会会長 飯野武史様に木遣りをご披露いただいた後、中締めが行われました。最後に石井茂人先輩と監事の中島啓亨君により大締めが行われました。

1月例会では、1月定期総会並びに新年懇親会という（公社）川越青年会議所にとって非常に重要な事業であると同時に、2024年度のスタートとなる例会を担当させていただくという責任を自覚し、総務委員会が一丸となって準備を進めてまいりました。しかしながら、当日は設営や運営において反省点がございました。こちらに関しては、委員会にてしっかりと検証し今後の事業に活かしてまいります。総務委員会メンバー一同、真心溢れる組織づくりに向けこれからも邁進していく所存でございます。今後ともご理解とご協力を何卒、よろしくお願い申し上げます。

出席率 73.2%
総務委員長 海沼 秀幸



1月新年懇親会において2024年度相原理事長挨拶



川越鳶組合 頭取 鈴木様、若鳶会 会長 飯野様による木遣りの披露

Report

◆京都会議

日時：2024年1月19日（金）～1月21日（日）

会場：国立京都国際会館

担当：運営特別委員会

去る1月19日（金）から1月21日（日）の3日間、（公社）日本青年会議所により、JCI日本における本年度の運動の方向性を共有すると共に、リーダーとして行動を起こさなければならないという気持ちを持ち、決起することを目的にテーマを「Stand up, Leaders!」と題して、第58回となる2024年度京都会議が国立京都国際会館にて開催されました。

当日は、日本全国から青年会議所メンバーおよそ1万人が京都の地に集結しました。（公社）川越青年会議所からも約30名のメンバーを牽引し参加をいたしました。

19日（金）に執り行われました（公社）日本青年会議所第1回理事会では、LOMメンバーである渋谷巧君が（公社）日本青年会議所関東地区・埼玉ブロック協議会会長として出席し、ブロック会長バッジの貸与式を執り行いました。続く21日（日）に執り行われました新年式典では、（公社）日本青年会議所 第73代会頭 小西毅君による会頭所信表明が行われました。所信表明の中では、本年1月1日に発災した能登半島地震や過去の震災における小西会頭自身の経験をもとに、社会課題に対して「圧倒的な当事者意識を持つ」必要性が説かれました。地域の若き担い手である（公社）川越青年会議所のメンバーにおいても、それぞれの目指すべきリーダー像を明確にし、当事者意識を強く持ち運動を展開する必要を強く感じる貴重な機会になりました。なお、小西会頭の所信表明につきましては、youtubeにて動画配信されておりますので是非ご覧いただきたく存じます。

最後に、ご参加いただきました多くのメンバーへこの場を借りて厚く御礼申し上げます。また、本年度はLOMの枠を超えた活動をする機会が多く予定されております。我々はこの機会を大いに活用しLOMがさらに発展ができるよう強く決意し邁進してまいります。先輩諸兄弟におかれましても今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

運営特別委員長 今村 雄一



京都会議においてメイン会場前での集合写真



京都会議メイン会場の風景



第73代会頭 小西 毅君による会頭所信表明

Report

◆メイン事業実行委員長挨拶及び第1回メイン事業全体会議の報告

日時：2024年2月2日（金）

登録・受付：18：30

開会：19：02

閉会：20：58

会場：ウエスタ川越 市民活動・生涯学習施設 活動室1

日頃より（公社）川越青年会議所の活動にご支援ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。2024年度メイン事業実行委員長を仰せつかっております山本翔吾と申します。相原理事長の掲げる「真心溢れる川越の創造」に向けて、メイン事業実行委員長として誠心誠意職務を全うしてまいります。

伝統や文化、豊かな自然を色濃く残す私たちのまちは、多くの歴史的財産を受け継ぐと共に時代のニーズに合わせてまちの人びとから愛されるまちへと発展してきました。このまちが今後も発展し続けていくためには、人びとと共に生き、まちの将来を考え行動していくまちづくりを展開していく必要があります。

本年（公社）川越青年会議所は自然を通じて仲間と認め合う心を培い、まちへの想いを集めることを目的に、「川越自然発見2024～伊佐沼より真心をこめて～」を開催したいと考えております。

去る2月2日（金）には担当する社会開発委員会と青少年育成委員会のメンバーからなる企画推進・第1事業室の設営のもと第1回メイン事業全体会議を開催させていただきました。この会議ではメイン事業のコンセプトや組織図などの概要や2024年度のメイン事業の方向性をメンバーの皆様と共有させていただきました。また、3つの事業室と運営会計室に分かれて室会議を開催していただき、メイン事業当日に向けてメンバー全員が一丸となる機会とすることができたと感じております。

引き続き、全メンバーと共にメイン事業へ向けて邁進してまいりますので変わらぬご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

出席率 72.1%

メイン事業実行委員長 山本 翔吾



山本 翔吾実行委員長による挨拶



相原理事長による挨拶

Report

◆災害支援

第1回募金活動

1月9日（火）17:30～18:30 本川越駅西口

第2回募金活動

1月10日（水）17:30～22:00 ラ・ボア・ラクテ（1月新年懇親会会場据え置き）

第3回募金活動

2月2日（金）17:30～18:30 川越駅東口

災害ボランティア活動

2月5日（月）8:00～17:00 七尾市

まずは、令和6年1月1日に発生しました能登半島地震において被災されたすべての皆様に心よりお見舞い申し上げますとともにご冥福をお祈りいたします。一日も早い復旧復興を願ってやみません。

我々（公社）川越青年会議所としても、一日も早い復旧復興を目指し、災害物資の提供や災害ボランティア、3度に渡る災害支援金の募金活動など多くのメンバーで災害支援活動を行ってまいりました。

特に、災害ボランティアにおいては、（公社）日本青年会議所の指揮の元、相原広明理事長を筆頭に石川県七尾市の支援に行っていました。被災地は大変残酷な状況で、未だに上下水道のライフラインの復旧もできておらず、家屋や事業所は、全壊、半壊が多くみられ、避難所生活を余儀なくされている方々で溢れておりました。我々は、予めいただいた市民の要望に応えるべく、家屋からの家財の搬入や清掃活動、災害廃棄物仮置き場への運搬などを主な活動として行わせていただきました。一軒一軒、真心を込めながら、被災者の気持ちに寄り添いながら活動している中で、一つずつ解決した後の被災者からいただく言葉には涙が出てきました。

「今日はこちらから来たの？川越かー、観光に行ったことあるよ！関東からも来てくれて本当にありがとね。財産もすべてなくなっちゃったけど、日本全国から助けてもらって、これから頑張ろう。って勇気もらったよ。」

突然の災害ですべてを失ったはずの市民の方々が、これから先に対して前を向き始めていました。我々（公社）川越青年会議所としても、復旧復興が完全に終わるまでは何度でもできる限りの災害支援を進めていきます。

総務委員長（災害対策担当） 海沼 秀幸

総務委員会一同



第2回災害支援金募金活動の様子